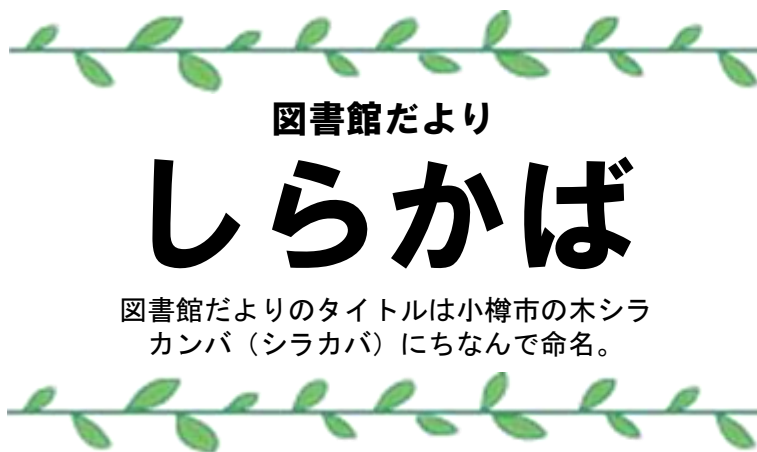




図書館だよりのタイトルは小樽市の木シラ
カンバ（シラカバ）にちなんで命名。

市立小樽図書館

〒047-0024 小樽市花園 5-1-1

TEL (0134) 22-7726/FAX (0134) 34-0733

<https://www.otaru-lib.jp/>

休館日 ■ 黒い枠

10月 図書館カレンダー 9月15日現在						
日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 祝日開館	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

行事などの最新情報はこちらをチェック！

小樽図書館

検索



ホームページ



Facebook



Instagram



YouTube

◇開館時間

火～金は午前9時半～午後7時まで

土・日・祝日は午前9時半～午後5時まで

◇休館日

10月 曜日 5日・19日・26日

月 館内整理休館日 30日（金）

※祝日（10／12スポーツの日は開館いたします）

11月 曜日 2日・9日・16日・30日

月 館内整理休館日 27日（金）

※祝日（11／3文化の日、23勤労感謝の日は開館いたします）

11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 祝日開館	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23 祝日開館	24	25	26	27	28
29	30					

予約ベスト5

() の人数はR 8. 9. 1 1現在の予約人数です。

◎けんぐわい	(朝倉 かすみ)	(79 人)
◎永遠の記憶	(東野 圭吾)	(60 人)
◎暁星	(湊 かなえ)	(57 人)
◎イン・ザ・メガチャーチ	(朝井 リョウ)	(56 人)
◎カフェーの帰り道	(嶋 津 輝)	(42 人)

今月のおすすめ本

書名の前の数字は分類番号です。

5 9 4. 3「余り毛糸があったから」

成美堂出版編集部 編

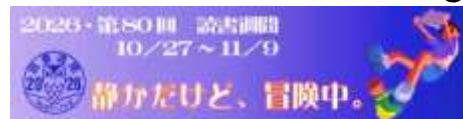
母は着なくなったセーターをほどいて、手袋を編んだりしていた。毛糸の再利用、今で言うSDGs。そんな母が亡くなり、押し入れを整理した。すると中途半端な毛糸がかなり出てきた。実は自分も子どもの頃から編み物好き。残った毛糸はタンスの奥にしまいこんでいた。出会ったこの本がきっかけで、コースターを編んでみた。これが結構、使える！

(N・K)



ハート職人、今夜も夜なべ？

「日々、サバイバル・ダンス?・・・」の巻



暑い夏をエアコンで乗りきることが出来た、茶の間では…。2階の部屋には扇風機のみ。階段を上る途中から熱風を感じる。すぐまた茶の間に戻っていた。外での作業はままならない。庭の憎き雑草、今年は特に成長速度が早かった気がする。我が家には草刈り機がない。ガソリンで動かす物はなかなかハードルが高い。車を運転しないため、ガソリンを買うことが困難だ。電動タイプの草刈り機があれば購入したいところ。とはいえ、怪我をする危険性がある物は増やしたくない。例年通り、夏の始めに除草剤を撒く程度の事しか出来なかった。年々面倒になっている。雑草放置は「ダメ、絶対！」と言われなくても、やっぱり近所迷惑。全国ニュースでは畑で倒れていた人が結構いた。そんなニュースを聞くと無理は禁物。ある日の涼しい早朝、ゴミ出し後にちょっとだけ草刈りもしてみた。汗、だくだく。手、わなわな。あきらめて薬、パラパラ。年齢を重ね過ぎた我が身にとっては、除草剤を撒くことが大正解だった。すぐ茶の間に戻って、エアコンの風を浴びながら生き返る。そんな危険な夏から、今はもう食欲の秋だ。いやいや、そこは読書の秋でしょうと言われてしまうかも。今年、読書週間の標語は「静かだけど、冒険中。」だという。経験を重ね過ぎた我が身には、日常生活そのものが冒険なのだけだね。今年は段差のないところで転びそうになりつつ、どうにかうまくかわし、すんでのところで持ちこたえた。二度と踏めないステップ。あれはスリル満点なひと夏の経験だった。ちょっとしたことで骨折するお年頃、注意が必須。そういう自分は骨密度が「若い世代よりも優秀」と以前の検査で言われた。あれはいつだったのか。



「海峡の女神」

伊東 潤 著

太平洋戦争時、病院船として海軍に徴用された豪華客船・氷川丸。若き軍医・河野順平は任務に励む。悪化する戦況。病院船と知りつつも氷川丸をつけ狙う敵の出現。

「縁切りの宿」

川越 宗一 著

江戸時代、夫からしか出せなかった離縁状。徳川家ゆかりの縁切り寺の寺役宿を務める桂屋は、訴えに嘘がないかなど関係者を呼び集め調べを行う。すると、さまざまな男女の事情が浮かび上がり…。



「冬霞」

森山 光太郎 著

実の父・足利尊氏にうとまれる足利直冬。孤独に生き、長じて叔父・足利直義の養子となる。一方、父・護良親王を直義勢に殺された美しき女子・霞は、敵方の直冬を探り接近するが…。

「刑事総務課は眠らない」

矢樹 純 著

神奈川県警捜査一課の刑事・月代杏果は不眠症を発症し、刑事総務課犯罪統計係へ異動した。そこで彼女を待っていたのは、災害で脳に障害を負い、1日に1時間未満しか眠れない根津梗士郎で…。

随 筆



「安恒(あんこう)」

今野 敏 著

明治12年。内務省の若き役人・小野寺正三郎は、赴任先の沖縄で後に「近代空手の祖」と呼ばれる糸洲安恒、その幼馴染み・安里安恒と出会い…。琉球王国消滅から始まる、空手誕生の物語。

「ふじさん」

さくら ももこ 著

ヒロシが5匹のドジョウを飼う!? 息子のトホホな夏休みって? おなじみの家族や友人もたくさん登場する、さくらももこの日常エッセイ。小学校1年生の時に描いた「えにつき」も収録。

「人にはどれほどの本がいるか」

鈴木 結生 著

死んだあと、その膨大な蔵書はどうなる? 知を求める歓びの先に待つものとは? 書物に関する圧倒的な知識に裏打ちされた表題作など、全3篇を収録する。

「暗殺の交響曲」

中山 七里 著

元首相暗殺事件の犯人の弁護を引き受けることになった御子柴礼司。その前に立ちちはだかるのは、「能面検事」こと不破俊太郎。そして、この事件には2人も知らない重大な秘密が隠されていた。

「先生が終わらない」

額賀 滯 著

都内の公立中学で教師が過労死した。働き方改革の命を受け、教育庁から赴任した新校長が「定時帰り」「部活動廃止」「完全週休二日制」を掲げるが…。学校のあるべき姿を見つめ直す再生の物語。



「誰何(すいか)」

伏尾 美紀 著

東京都内で松川美和が孤独死した。だが親族によると松川は2年前に死去しているという。松川の部屋と、石狩で起きたひき逃げ事件の被害者宅で、北海道警察の警官だった新内由紀の名刺が見つかって…。



「この家に生まれたことが失敗だった?」

群 ようこ 著

子どものときにいちばんの失敗だと思ったのは、両親の下に生まれたことだった。やらかし、恥をかき、とばっちりを受け、人生まだまなのつもりが、いつのまにか古稀も過ぎて…!? クスッと笑えて元気が出るエッセイ。

その他

書名の前の数字は分類番号です。

933.7 「はいつくばって」

ミランダ・ジュライ 著

アーティストの「わたし」は、45歳の記念にNYへの単独ドライブ旅行を企てる。ところが、なぜか家から30分ほどの小さな町にとどまり、そこで出会った年下の男とモーテルで逢瀬を重ねることに…。

933.7 「海辺のルーシー」

エリザベス・ストラウト 著

パンデミックを逃れ、元夫とともにメイン州へ身を寄せたルーシー。思いがけず始まった共同生活は、これまで言葉にできなかった思いや、消えない痛みを浮かび上がらせ…。人が誰かと生きることの不確かさと切実さを描く。

新着一般書



書名の前の数字は分類番号です。

159 「天才になれなかった全ての人へ」

かっぴー 著

「天才」とは、特別な才能を指す言葉ではなく、人間の“状態”を表す言葉。漫画「左ききのエレン」の原作者が、誰にでも実践できて、人生を変える力を持った現実的な才能論を語る。

159. 4 「まだ働かなきゃダメなんですか？」

弘兼 憲史 著



生涯現役でいるためには？スケジュールはあえて手書き、腕時計でこまめに時間管理、愚痴や不満は言わない…。「島耕作」シリーズの作者が実践する、いつまでも楽しく働くコツを紹介。料理初心者でも作れる簡単レシピ付き。

289. 3 「世界の果ての本屋さん」

ルース・ショー 著

ニュージーランドの最南端、マナポウリ湖のほとりで、ルース・ショーは夫とともに小さな本屋を経営している。彼女はこれまで世界を股にかけ、冒険に満ちた人生を過ごしてきた…。勇敢で、ユーモラスで、切ない真実の物語。



327. 1 「特捜取調室」

佐藤 優 著

かつて尊敬すべき敵として向き合った外務省職員・佐藤優と特捜検事・西村尚芳が、20年の時を経て対峙。検察不祥事はなぜ起こるか。特捜検察は必要か。今だから話せる驚きの本音と手の内とは。前代未聞の検察論。

379. 7 「疲れ切った人のための勉強法」

堀田 秀吾 著

勉強できないのは「意志が弱い」のではなく「脳が疲弊している」だけ。眺めるだけで始められる勉強法、聴くだけで進められる学習、5分で終わるマイクロラーニング、歩きながらできる勉強法などを紹介する。

455. 8 「絵でわかるプレートテクトニクス」

是永 淳 著

太陽系で唯一、海をたたえ生命をはぐくむ惑星、地球。その進化を支配し、生命環境に多大なる影響を与える現象「プレートテクトニクス」の本質を、イラストや図を利用して平易に説明する。

493. 1 「健康長寿解剖図鑑」

島影 真奈美 著

人はなぜ老いるのか？老いとは一体何なのか？人生100年時代を健やかに楽しく生きる心得が満載。老いの謎に迫る最新研究、ズボラでも元気で長生きできる10ヶ条、超高齢社会の歩き方などを紹介する。

523 「いちばんよくわかる西洋建築史入門」

中島 智章 著

ルネサンスとバロックは、何がどう違う？なぜ教会の天井は高いのか？近代建築以降、なぜ装飾がなくなった？写真や図版とともに、異国を旅しているような感覚で西洋建築史を学べる通史図鑑。



767. 8 「マイケル・ジャクソン ザ・レガシー」

マイケル ムーンウォーカーチーム 編



2026年6月公開の伝記映画「Michael/マイケル」と、マイケル・ジャクソンの伝説のパフォーマンスを網羅したビジュアルブック。その軌跡を辿りながら魅力に迫る。ディスコグラフィも収録。

834 「日本語で知ってるのに言えない英単語」

宮路 秀作 著

地理の教養と英語を同時に身につけられる本。地理に関する重要用語を、日本語・英語の一問一答形式で見開き2ページでまとめる。バイリンガル形式の図表も満載。

児童資料



「ギョウザくんとシュウマイちゃん」 はしもと えつよ 著
羽根つきギョウザになりたいギョウザくんと、エビシュウマイになりたいシュウマイちゃん。願いを叶えてくれる神社に行ってみようと、ふたりで店を飛び出した。でも今日はお祭りで、子ども神輿に踏みつぶされそうに…！？

「新聞記者、伝承者になる！」 中塚 慧 著
記者として働きながら広島市の被爆体験伝承者として活動している著者が、広島原爆被害や被爆者たちの戦後について解説。日本原水爆被害者団体協議会のノーベル賞受賞、核兵器禁止条約など、核兵器をめぐる「今」がわかる。

「音符がいっぱい」 まはら 三桃 著
おとなしくて目立たない男子の朝日が、音楽発表会で指揮者をするようになった！高齡な代理の担任・森田先生と、頼れる女子リーダーの彩加と共に学級崩壊の危機を乗り越え、音楽発表会の演奏を成功させられるのか？

「たるばとクラブ」

たるばとクラブは、おはなし会や工作、アニメの上映など、図書館に来るのがもっと楽しくなる時間です。

【日 時】 いずれも土曜日 午後2時～3時

①10月3日 ②10月17日

③11月7日 ④11月21日

【場 所】 ①③④図書館1階 児童室えほんコーナー

②図書館2階 視聴覚室

【対 象】 どなたでも 【申込み】 不要

【内 容】 ①③「たるBOOKのかみしばい」

「たるBOOK」の皆さんによる紙芝居と工作。

協力：たるBOOKの皆さん

②「声でひろがるおはなしの世界」

「小さな朗読の会 小樽あおばと」の皆さん

による朗読と簡単な工作。

協力：小さな朗読の会 小樽あおばとの皆さん

④「秋のごちそう いただきます！」

秋の食べ物をテーマにしたおはなし会と工作など。



「乳幼児向けおはなし会 たるぴよタイム」

絵本の読み聞かせや手遊びなどのおはなし会です。

【日 時】 いずれも金曜日 午前11時～11時半

10月2日、9日、16日、23日

11月6日、13日、20日

【場 所】 図書館1階 児童室えほんコーナー

【対 象】 乳幼児とその保護者 【申込み】 不要

「ぐうちよきぱあのおはなし会」

「おたる子ども劇場ぐうちよきぱあ」の皆さんによる絵本の読み聞かせや紙芝居などの楽しいおはなし会です。

【日 時】 10月14日（水）

午後3時半～4時

【場 所】 図書館1階 児童室えほんコーナー

【対 象】 どなたでも 【申込み】 不要

※11月3日（祝・火）人形劇開催のため、11月は休止します。

郷土資料



H011. 1「本の力でまちづくり」

小磯 修二 著

まちづくりの地域資源は「あたりまえ」の中にある！北海道恵庭市における実践的な読書政策の取り組みを振り返り、本の力でどのようにまちづくりを進めていけばいいのかを考察する。

H291. 1「温泉やど北海道」

昭文社 編

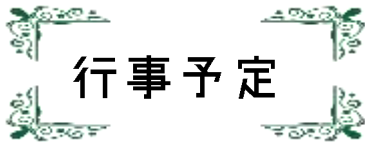
徹底取材と調査で宿の中身がよくわかる、北海道エリアの温泉宿選びの決定版。温泉ガイドと宿カタログのほか、絶景宿、シーン別厳選宿、北海道湯めぐり旅マップなどを収録。

H319. 1「海峡の向こうの隣人たち」

三谷 将 著

2022年、稚内市役所からサハリン課の看板が外された。コロナウイルス、ウクライナ侵攻、そして断絶。思い返して胸に浮かぶのは、何気ない日々の尊さだった。サハリン課で対岸を見つめ続けてきた職員が綴るドキュメント。





10月

展示

郷土資料展 「創立110周年記念図書館のあゆみ展」

【日 時】9月17日(木)～10月7日(水)
【内 容】市立小樽図書館創立110周年を記念した展示を行います。
【場 所】図書館2階 ギャラリー

「秋の火災予防運動」(資料展示)

【日 時】10月15日(木)～10月29日(木)
【内 容】火災が起こりやすい季節にあわせ、図書館では「秋の火災予防運動」に関連した防火・防災資料を展示しています。
【場 所】図書館1階 児童室



「そのうちに、」を「今のうちに。」～想いをつなぐ 遺言と相続～(資料展示)

【日 時】10月21日(水)～10月29日(木)
【内 容】「自筆証書遺言書保管制度」を主として、札幌法務局小樽支局と共催で、遺言・相続に関する資料を展示します。
【場 所】図書館1階 エントランス

秋の読書週間行事「大人のおはなし会」

【日 時】10月29日(木) 午前10時半～正午
【内 容】札幌おはなしの会の皆さんの語りによる大人が楽しむおはなし会です。
【対 象】小学5年生以上(申込み不要)
【場 所】図書館1階 閲覧室

おたる BookArtWeek2026 「わたしの手仕事」

【日 時】10月11日(日)～10月29日(木)
【内 容】市民の方々が心を込めて作った、素敵な手芸作品を展示します。
【場 所】図書館2階 ギャラリー



催し

「中高生向けワークショップ」

【日 時】10月10日(土) 午後1時半～3時
【内 容】世界に1冊だけのオリジナル豆本を作りますか? 申込み不要、参加費無料です。
【対 象】中学生・高校生
【場 所】図書館2階 視聴覚室



「預けて安心! 法務局における自筆証書遺言保管制度と相続登記について」

【日 時】10月29日(木) 午後1時半～3時
【内 容】法務局の職員による、自筆証書遺言書保管制度ほか、遺言書や相続に関する講座を開催します。
【対 象】高校生以上
【定 員】30名(先着)
【場 所】図書館2階 視聴覚室
【申込み】10月1日(木)から前日まで 図書館へ
【主 催】札幌法務局小樽支局



お知らせ

移動図書館バスの令和8年10月から令和9年3月までの下半期ダイヤが決定しました。詳しくは、館内に設置している日程表、または当館ホームページにてご確認ください。お近くに移動図書館バスが巡回する際には、ぜひお気軽にご利用ください。